

【エリアの特性】

＜自然＞

斜面地に残る緑や身近な水辺を有するまち

国松丘陵の名残りとなっています斜面地の緑は、市街地の背景として、まちの風景にうるおいをもたらしています。

また、ため池を活用した公園の整備などにより、まちなみに変化とうるおいをもたらすとともに、市民の憩いの場となっています。

＜歴史・文化＞

市街地の中に豊かな歴史的環境を有するまち

交通安全の祈願で知られる成田山不動尊をはじめ、友呂岐神社など多くの社寺があり、地域の歴史資源や景観資源として貴重な存在となっています。

また、エリア内には、昔の面影を残す旧集落地があります。

＜人工・都市＞

学園まちとして落ち着きがあるまち

本市の北の玄関となる香里園駅の東側に位置し、聖母女学院(国登録有形文化財)や同志社香里高校・中学校などが立地し、学園に通う若者もたくさんいます。

この他エリアには成田公園や第五、国松緑丘小学校などがあります。

また、香里園駅の東側地区では、香里園駅東地区第1種市街地再開発事業により、市の北の玄関口としての整備が進められています。

景観整備の方向

学園と成田不動尊のある香里丘陵の端正なまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

- 三ツ池やコモ池などのため池、斜面地に残る緑を活かしたうるおいのあるまち

- ため池の水辺を活かした公園などうるおいのあるまちをつくる。
- ・ため池の水辺の演出と活用
- ・国松丘陵に残される市街地の中の緑の活用

＜歴史・文化＞

- 成田山不動尊とその参道を活かした歴史の香りがするまち

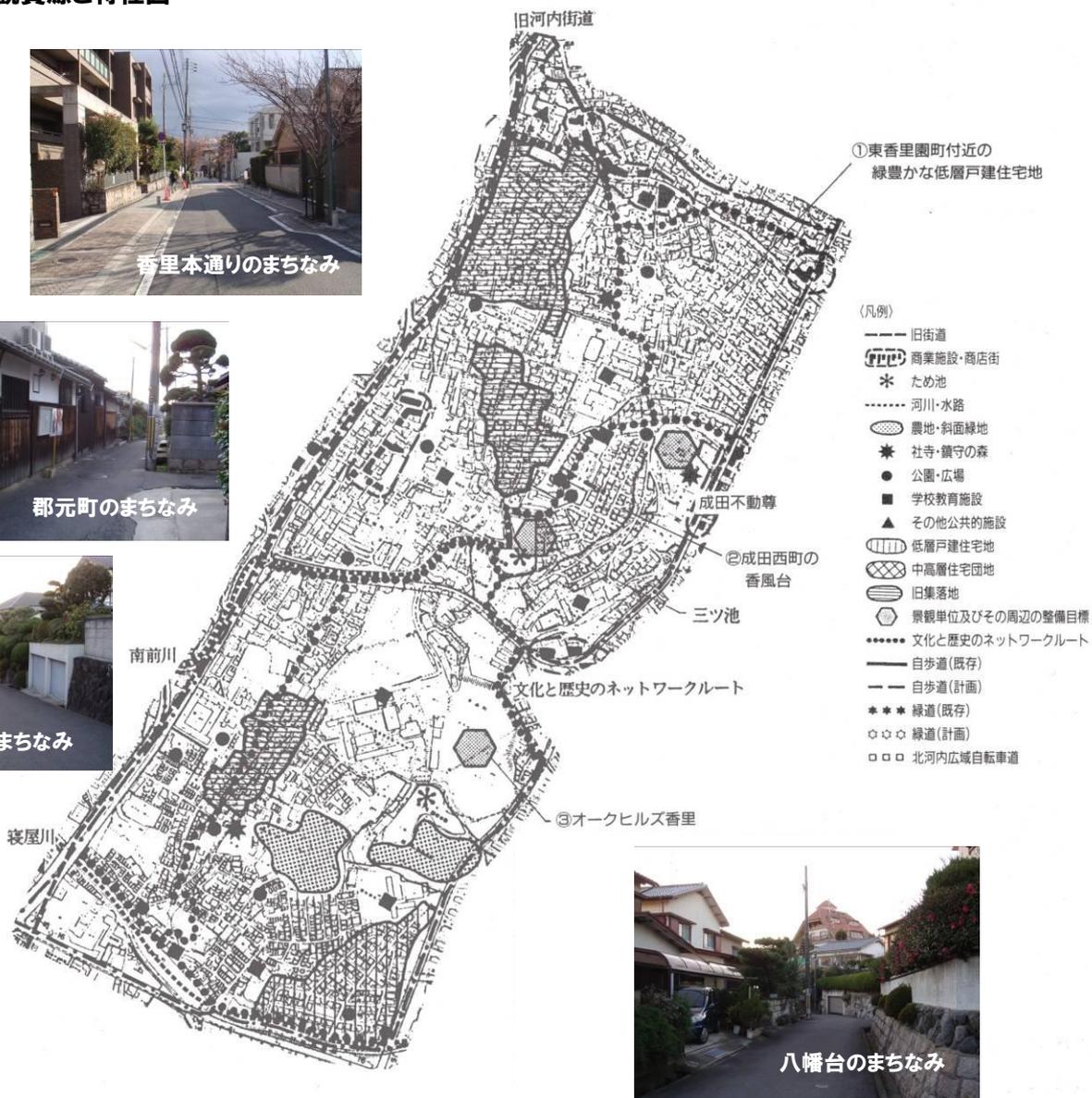
- 歴史性を活かした演出をする。
- ・回遊性の創造や演出による歴史資源の活用

＜人工・都市＞

- 聖母女学院や同志社香里高校などの学園を活かした落ち着きのあるまち

- 市の北の玄関として、学校施設を活かし、学園のまちの雰囲気をつくる。
- ・落ち着いた楽しい学園のまちの演出や景観に配慮したコミュニティ道路などを通学路として活用

景観資源と特性図



■景観基本単位

名称	<旧集落地>郡元町	<旧集落地>美井町・美井元町	<旧集落地>国松町	<低層戸建住宅団地>八幡台
景観整備の目標	○旧集落の緑を活かしたまちなみを創る。	○旧集落の緑とともに、さらに緑化を進め、緑豊かなまちなみを創る。	○地形の変化を活かし、国松丘陵地の緑が映える旧集落地のまちなみを守り育てる。	○戸建住宅の落ち着いたまちなみを守り育てる。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○旧集落や社寺の緑など、緑が豊かなたたずまいの活用 ○友呂岐神社やコミュニティ道路の活用	○南前川沿いの道路や三ツ池の水辺空間の活用 ○地域資源を活用し、緑豊かな散策路としての回遊性の演出	○社寺林の活用 ○古いまちなみの活用	○まちなみや民地の緑の活用